

教育委員会

1 宮崎市教育基本方針

本市の教育は、教育基本法の理念のもとに、豊かな人間性と創造性を備えた人間の育成をめざすとともに、全ての人が生きがいを持ち、学び楽しむ、活気あふれる教育環境を創出する。

このため、地域住民、家庭、学校など社会を構成する全ての者が、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に連携協力しながら、市民一人一人の生涯にわたる学習を支え合い、その実現に努める。

宮崎で育ち、学ぶことを通して、わたくしたち市民は、郷土に誇りと愛着を持ち、地域社会、我が国、そして国際社会の平和と発展に寄与する。

2 第二次宮崎市教育大綱

宮崎市教育大綱は、平成 27 年 4 月 1 日に施行された改正後の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 1 条の 3 に基づき、「総合教育会議」で市長と教育長及び教育委員が協議を行い、本市の教育行政を推進するための基本指針として平成 28 年 1 月に策定したものである。

平成 29 年度に宮崎市教育大綱の期間の最終年度を迎えたことから、平成 30 年 3 月に、平成 30 年度から令和 9 年度までの 10 年間を期間とする「第二次宮崎市教育大綱」を策定した。

「第二次宮崎市教育ビジョン」に掲げる基本理念、三つの基本目標を核として、基本理念、目指す方向性、重点施策を定め、全庁的な視点に立って、将来を担う人財育成に取り組むこととしている。

<基本理念>

宮崎で育ち、学ぶことを通して、郷土に誇りと愛着をもつ感性豊かな「みやざきっ子」を育てるとともに、一人一人の個性を重んじつつ、知・徳・体の調和がとれ、自分の夢や希望に向かって主体的に考え行動できる人財を育てます。

三つの目指す方向性

①目指す方向性1 未来をたくましく生き抜いていく力の育成

子どもたち一人一人が自ら個性を発揮し、広い視野と柔軟な思考力をもって、未来をたくましく生き抜いていく力を育むことを目指します。

重点施策1 自ら学び考える力などの確かな学力の向上

重点施策2 豊かな国際感覚をもつ子どもの育成

重点施策3 他人を思いやる心や規範意識などの豊かな人間性の育成

重点施策4 たくましく生きるための健康の増進や体力の向上

重点施策5 一人一人の子どもの自立や社会参加に向けた支援体制の充実

②目指す方向性2 楽しみながら学べる環境の充実

子どもたちが安全で安心して活動できる環境づくりを図るとともに、意欲的に楽しく学べる学習機会の提供を目指します。

重点施策1 子どもが安全で安心して活動できる居場所づくり

重点施策2 郷土の歴史や文化を学び親しむ機会の充実

重点施策3 見て触れて体感できる施設の充実

③目指す方向性3 子どもを見守り、育む環境の充実

地域、家庭、学校が一体となって相互に連携協力しながら、次世代を担う子どもたちと一緒に育てることを目指します。

重点施策5 自然災害に対する高い意識の育成と実践的な防災力の定着

また、基本理念である「みやざきっ子の育成」の視点を、市内の小中学校で毎年策定される「学校経営ビジョン」に反映させ、学校と一体となった計画の着実な実施を図るとともに、実施した内容については、毎年度、評価と進捗管理を行っている。

第二次宮崎市教育ビジョンの概要

＜基本理念＞

宮崎で育ち、学ぶことを通して、郷土に誇りと愛着をもつ感性豊かな「みやざきっ子」の育成

三つの基本目標と主な施策

① 基本目標1 学校教育の充実

学校教育を通して、子どもたち一人一人が自ら個性を発揮し、広い視野と柔軟な思考力をもって、未来をたくましく生き抜いていく力を育みます。

主な施策1 学力の向上

児童生徒が「分かる・できる授業」にするための授業改善の推進、個に応じたきめ細かな指導を行うための指導体制の充実など

主な施策2 読書活動の推進

学校図書館の利用促進、児童生徒の主体的な読書活動の推進など

主な施策3 情報教育の充実

日常的にICTを活用できる環境の整備、ICTを効果的に活用した学習指導の充実、情報モラル教育の推進など

主な施策4 外国語教育・国際理解教育の充実

外国語指導助手(ALT)や外国語活動アシスタント(FLAA)の派遣を増やし、外国語を用いたコミュニケーション能力や豊かな国際感覚を身に付ける指導の充実など

主な施策5 生徒指導の充実

自らを大切にし、他人を思いやる心情を育むとともに、命を大切にする教育の推進、いじめに関する取組や不登校対策の充実、スクールアシスタント等による相談体制の充実など

主な施策6 道徳教育の充実

「考え、議論する」道徳に向けた授業改善、道徳性を養う取組の充実など

主な施策7 特別支援教育の充実

特別な支援を必要とする児童生徒一人一人のニーズに合った支援体制の充実など

主な施策8 保幼小、小中の連携推進

保育所や幼稚園、認定こども園等と小学校との交流の充実と接続の強化、小中9年間を見通した小中一貫教育の継続・発展など

主な施策9 体力の向上

体力向上プランを生かし、児童生徒の体力・運動能力を向上させる取組の推進、運動やスポーツの意義を理解し、楽しさや喜びを体感できる授業の充実など

主な施策10 学校保健活動の充実

フッ化物洗口の継続実施、アナフィラキシー対応緊急時マニュアルに沿った体制づくりの推進など

② 基本目標2 教育環境の充実

教職員の更なる資質の向上や、子どもたちが多くの時間を過ごす学校施設において、安心安全で快適な学習環境を整備するとともに、家庭や地域で子どもを育てるための環境の整備を図ります。

主な施策1 教職員の資質向上

教職員として求められる資質や能力等を向上させるため、参加体験型の研修への更なる転換などの研修内容の充実、校内研修の充実など

主な施策2 市立図書館の充実

自主的な読書活動の促進や多様な学習ニーズに応えられるよう図書館環境の整備、誰もが気軽に読書に親しめる機会や情報の提供、学校の教育活動や読書活動への支援など

主な施策3 子どもの居場所づくりの充実

児童クラブ、放課後子ども教室の充実、児童クラブ待機児童を減らす取組の推進など

主な施策4 安全でおいしい学校給食の提供

安全でおいしい学校給食の提供、地場産物の活用等による献立の充実、食物アレルギーを有する児童生徒への対応など

主な施策5 学習関連施設の利用促進・活用推進

学習拠点としての企画や展示の充実、学習関連施設の利用促進、授業での活用など

主な施策6 学校施設の充実

学校施設の安全性の確保、適切な維持管理や学校施設の長寿命化、トイレの洋式化やバリアフリー、温暖化に対応した環境の整備など

③ 基本目標3 地域・家庭・学校が連携した教育の充実

地域、家庭、学校が一体となって、次世代を担う子どもたちと一緒に育てていきます。

主な施策1 キャリア教育の充実

小中9年間を見通したつながりのある計画の作成、地域の特色を生かした取組や職場体験学習の充実など

主な施策2 郷土の歴史に関する学習の推進と継承

実物を見る・触れる学習の充実、教科書等の内容と身近な地域の文化財や偉人を関連付けて理解させる授業の推進など

主な施策3 開かれた学校づくりの推進

学校に関する情報を家庭・地域への積極的な発信、学校関係者評価委員制度の充実など

主な施策4 地域と学校の連携

地域の方々や企業が学校支援ボランティアとして教育活動に参加しやすい体制の整備、地域や関係機関等との連携による見守り活動の充実など

主な施策5 防災教育の充実

子どもたちが災害時に主体的に行動できるよう、「宮崎市防災教育手引書」を活用した多様な防災教育・減災教育の実施、学校と地域が連携した防災訓練の実施など

主な施策6 体験活動の推進

子どもたちのボランティア体験活動への参加意欲を高めるための活動の場や情報の提供、自然や芸術・文化の体験活動機会の提供など

主な施策7 家庭および地域の教育力の充実

保護者を対象とした子育てや家庭教育に関する講座の充実、地域全体で子どもたちを育成する体制の整備など

主な施策8 食育の推進

教育活動全体を通じた食育の推進、行事食や郷土料理などを取り入れ、学校給食を「生きた教材」として活用した食育の推進、家庭と連携した食育の推進など

主な施策9 生涯学習機会の充実

生涯学習講座の充実による公立公民館等の利用促進、市民の自主的な社会教育活動を支援するための生涯学習環境の整備など

主な施策10 高等教育機関等との連携推進

学校教育や生涯学習の充実のため大学などの高等教育機関等との連携推進など

4 教育費の推移

(単位:千円)

年度 区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
総 額 (A)	15,840,497	12,648,757	13,324,377	14,222,193	13,586,186
教 育 総 務 費	4,579,908	2,622,779	2,680,230	2,867,102	3,351,324
小 学 校 費	4,031,953	2,033,507	2,628,729	2,990,226	2,367,738
中 学 校 費	1,044,599	1,459,364	1,446,157	1,237,732	1,283,984
幼 稚 園 費	54,440	48,873	51,904	54,499	34,469
社 会 教 育 費	3,307,823	3,551,316	3,181,517	3,640,292	2,911,252
保 健 体 育 費	2,821,774	2,932,918	3,335,840	3,432,342	3,637,419
一般会計歳出(B)	218,732,471	196,024,173	186,972,743	181,480,000	184,000,000
(A) / (B) (%)	7.2	6.5	7.1	7.8	7.4

※ 令和2年度から令和4年度までは決算額

※ 令和5年度、令和6年度は当初予算額

学校教育施設

(学校施設課 内線 (75)5651)

1 学校施設の概要

(1) 小学校(令和 6.5.1 現在)

※学級数は実学級数

学 校 名		創 立 年月日	児童数 (人)	学級数		教職員数(人)			校地面積(m ²)	
				普通	特別 支援	県費	市費	計		内 運動場
1	宮崎小	明 5.11.15	430	15	6	34	8	42	16,693	8,245
2	小戸小	大 9. 4. 5	330	12	5	29	8	37	16,810	6,180
3	大淀小	明 22. 2.14	689	22	3	40	6	46	16,734	6,466
4	大宮小	明 25. 9.22	876	27	6	56	9	65	18,623	9,188
5	宮崎東小	昭 38. 4. 1	281	12	4	29	10	39	21,776	6,553
6	古城小	明 43. 4. 1	95	6	1	12	4	16	11,792	9,317
7	江平小	昭 4. 4. 1	853	26	6	50	8	58	16,564	6,702
8	西池小	昭 31. 4. 17	815	25	6	52	7	59	20,072	7,489
9	檜小	明 29. 5. 1	606	21	4	40	9	49	20,517	7,285
10	潮見小	昭 27. 4. 1	476	16	4	37	6	43	16,823	7,170
11	恒久小	昭 24. 4.11	517	18	4	31	5	36	25,587	10,340
12	赤江小	明 19.11.13	650	21	5	46	5	51	23,956	10,836
13	国富小	明 6.12.24	548	19	3	40	6	46	17,699	10,677
14	瓜生野小	明 25. 6.16	208	7	2	14	6	20	15,977	5,936
15	倉岡小	明 6.11. 3	140	6	2	15	5	20	17,619	11,231
16	木花小	明 36. 2. 2	281	12	3	27	5	32	15,389	10,906
17	鏡洲小	明 8	19	4	0	9	4	13	6,659	2,702
18	青島小	明 33. 7.25	115	6	2	16	9	25	13,064	5,045
19	内海小	明 34. 5.12	19	3	0	6	4	10	11,925	4,590
20	住吉小	明 24. 5.17	899	27	8	55	8	63	23,435	15,465
21	生目小	明 32. 3.17	556	18	3	33	12	45	41,636	16,652
22	大塚小	昭 46. 4. 1	709	24	2	40	7	47	29,135	11,335
23	池内小	昭 46. 4. 1	279	12	3	23	5	28	17,942	7,770
24	宮崎西小	昭 50. 4. 1	210	8	4	23	5	28	29,265	12,893
25	東大宮小	昭 51. 4. 1	717	22	7	45	7	52	25,314	14,537
26	宮崎南小	昭 53. 4. 1	908	29	8	58	7	65	26,825	13,966
27	本郷小	昭 54. 4. 1	659	21	6	45	7	52	28,176	8,759
28	宮崎港小	昭 55. 4. 1	429	14	3	31	7	38	24,474	12,853
29	江南小	昭 55. 4. 1	710	23	6	45	9	54	37,857	12,015
30	住吉南小	昭 56. 4. 1	505	17	3	31	14	45	23,832	13,315
31	檜北小	昭 60. 4. 1	708	24	6	47	4	51	26,100	11,466
32	小松台小	昭 60. 4. 1	575	19	3	34	8	42	36,210	10,035
33	生目台東小	昭 62. 4. 1	168	6	2	16	4	20	29,381	10,415
34	学園木花台小	平 5. 4. 1	316	12	2	24	6	30	29,953	11,938
35	生目台西小	平 6. 4. 1	155	6	2	13	4	17	25,219	10,223
36	田野小	明 11.11. 3	647	21	4	43	6	49	21,254	8,172
37	七野小	明 21.10.17	54	5	2	13	5	18	12,632	5,741
38	佐土原小	明 5	252	11	3	22	3	25	18,787	8,734
39	那珂小	明 36. 1	310	12	2	26	4	30	15,482	8,738
40	広瀬小	明 11. 3	665	22	4	44	7	51	26,899	10,208
41	広瀬北小	昭 54. 4. 1	561	19	4	35	5	40	27,459	13,400
42	広瀬西小	昭 59. 4. 1	308	12	2	25	6	31	49,650	14,799
43	高岡小	明 6	436	16	3	33	6	39	20,114	10,318
44	穆佐小	明 5.10	161	6	2	13	4	17	22,839	6,896
45	清武小	明 28.4	696	23	5	47	8	55	18,887	6,249
46	大久保小	明 5	155	6	2	15	4	19	37,763	9,168
47	加納小	昭 60.4.1	836	26	5	51	5	56	58,080	9,366
計			21,532	739	172	1,513	295	1,847	1,108,879	452,284

建 物 面 積(㎡)							
校 舎				屋内運動場		プール規模 (㎡)	給食施設 面積(㎡)
必要面積	保 有 面 積			必要面積	保有面積		
	鉄 筋	鉄 骨	木 造				
5,450	3,980	241	39	1,215	890	462	188
4,721	5,284	97	16	1,215	1,118	440	191
6,196	6,095	231	4	1,215	863	431	215
7,565	5,001	375	192	1,215	1,094	462	211
4,553	3,831	51		1,215	640	505	185
2,636	1,688	367		894	532	410	161
7,392	5,303	226		1,215	891	350	210
7,219	5,184	526		1,215	919	441	236
6,191	4,069	1,271	61	1,215	863	448	196
5,301	5,248	322	4	1,215	945	438	203
5,672	4,535	499	41	1,215	901	455	192
6,359	6,144	320	50	1,215	893	446	209
5,677	4,465	268	4	1,215	670	410	217
3,040	2,593	121	101	894	524	350	142
2,804	2,204	110		894	557	350	162
4,385	2,938	106		919	522	420	218
1,707	2,024	30	47	894	532	300	154
2,804	2,715	67	20	894	493	350	168
1,326	1,697	12	41	894	532	329	158
7,901	4,858	424		1,215	945	438	232
5,504	3,944	303	4	1,215	677	465	228
6,374	4,901	185		1,215	946	441	328
4,385	4,006	126	4	919	677	350	189
3,612	5,470	145	77	919	1,164	470	288
6,868	4,876	223		1,215	945	438	224
8,247	5,135	233	15	1,215	992	447	211
6,527	4,477	183	4	1,215	945	441	227
4,759	4,037	81	34	1,215	893	350	188
6,873	4,629	224		1,215	945	440	181
5,320	4,100	178	50	1,215	989	454	195
7,046	5,253	536		1,215	725	438	231
5,677	5,340	383		1,215	1,017	440	235
2,804	5,557	327		894	1,049	448	225
4,217	4,815	373	4	919	919	440	211
2,804	5,303	86	4	894	1,049	350	211
6,191	4,429	5	166	1,215	1,051	375	給食センター
2,424	1,394	100		894	436	375	給食センター
4,152	3,506	23	90	919	1,095	455	給食センター
4,217	2,763	122	27	919	825	455	給食センター
6,364	5,500	225	101	1,215	1,004	455	給食センター
5,845	4,272	397	55	1,215	760	460	給食センター
4,217	3,519	85	32	919	994	460	給食センター
5,133	4,520	91	80	1,215	1,110	403	給食センター
2,804	2,469	36	89	894	834	322	給食センター
6,705	5,508		8	1,215	1,175	555	給食センター
2,804	3,709	114	36	894	929	448	給食センター
7,224	6,126	84	26	1,215	986	460	給食センター
237,996	199,414	10,532	1,526	51,502	40,455	19,870	7,220

(2) 中学校(令和 6.5.1 現在)

※学級数は実学級数

学 校 名		創 立 年月日	生徒数 (人)	学級数		教職員数(人)			校 地 面 積(m ²)	
				普通	特別 支援	県費	市費	計		内 運動場
1	宮崎東中	昭 22. 5. 8	325	9	3	27	4	31	18,026	10,033
2	宮崎中	昭 31. 6. 1	450	12	7	39	9	48	20,661	9,600
3	宮崎西中	昭 24. 4.22	536	15	5	43	7	50	23,041	12,377
4	大淀中	昭 22. 5. 8	548	15	2	33	5	38	22,003	14,765
5	大宮中	昭 22. 5. 8	518	14	3	38	4	42	24,414	13,058
6	櫛中	昭 22. 5. 8	647	17	7	47	4	51	38,436	12,595
7	赤江中	昭 22. 5. 8	471	13	5	36	6	42	22,965	18,271
8	木花中	昭 22. 5. 8	299	9	2	28	4	32	31,086	15,417
9	青島中	昭 22. 5. 8	63	3	2	15	5	20	19,101	14,175
10	宮崎北中	昭 27. 4. 1	140	6	2	19	4	23	21,515	9,256
11	住吉中	昭 22. 5. 8	629	17	3	41	6	47	28,462	11,744
12	生目中	昭 22. 5. 8	525	15	4	39	5	44	31,410	14,405
13	本郷中	昭 54. 4. 1	581	16	5	44	5	49	29,801	15,104
14	大塚中	昭 56. 4. 1	598	17	4	44	4	48	36,206	21,724
15	東大宮中	昭 57. 4. 1	550	15	5	43	6	49	30,929	12,907
16	生目南中	昭 62. 4. 1	126	4	2	16	3	19	34,290	13,694
17	赤江東中	平元. 4. 1	297	9	3	29	4	33	24,622	11,395
18	生目台中	平 4. 4. 1	189	6	2	23	3	26	35,556	16,404
19	田野中	昭 22. 5. 8	319	9	3	27	4	31	24,066	9,956
20	佐土原中	昭 34.10. 1	260	9	2	22	4	26	39,107	25,343
21	広瀬中	昭 22. 5. 8	317	9	2	24	3	27	27,512	18,266
22	久峰中	昭 61. 4. 1	428	12	3	34	5	39	47,504	22,472
23	高岡中	昭 49. 4. 1	250	8	2	27	5	32	24,329	13,664
24	清武中	昭 22. 5. 8	385	11	3	30	4	34	24,887	10,649
25	加納中	平 11. 4. 1	407	12	3	31	3	34	58,024	24,518
26	ひなた中	令 6.4.22	17	2	0	10	0	10	-	-
計			9,875	284	84	809	129	940	737,953	371,792

2 主な学校施設の整備(令和6年度)

- ・小・中学校特別教室等空気調和設備に係る環境改善の推進
- ・小・中学校トイレ洋式化の推進
- ・小・中学校校舎外壁、屋根防水改修の計画的な整備

建 物 面 積(㎡)							
校 舎				屋内運動場		プール規模 (㎡)	給食施設 面積(㎡)
必要面積	保 有 面 積			必要面積	保有面積		
	鉄 筋	鉄 骨	木 造				
4,657	4,730	149		1,138	1,049	400	給食センター
6,305	5,865	406		1,476	1,480	400	給食センター
6,449	6,023	467	39	1,476	1,070	400	給食センター
5,945	5,232	189		1,138	1,143	400	給食センター
5,953	5,295	278	3	1,138	1,100	400	給食センター
7,105	5,697	193	6	1,476	1,020	400	270
6,129	5,896	128	66	1,476	1,058	400	給食センター
4,489	4,070	135	4	1,138	981	400	218
2,486	2,492	147		1,138	830	400	158
3,517	2,681	234		1,138	1,146	400	170
6,433	5,018	332		1,476	1,222	400	243
6,281	5,885	61		1,476	1,476	400	243
6,609	5,487	162		1,476	1,020	400	191
6,601	5,596	436		1,476	1,052	400	222
6,449	5,478	178	42	1,476	1,021	400	給食センター
2,830	6,082	62		1,138	1,222	400	243
4,657	4,722	175	4	1,138	1,049	400	給食センター
3,517	5,504	196	4	1,138	981	400	234
4,657	4,598	83	22	1,138	1,209	400	給食センター
4,489	4,686	6	26	1,138	1,163	400	給食センター
4,489	4,806	61		1,138	1,363	400	給食センター
5,633	5,576	94	7	1,138	1,157	425	給食センター
4,165	4,001	260	49	1,138	1,259	400	給食センター
5,305	6,735	441	37	1,138	1,252	395	給食センター
5,633	5,657		27	1,138	1,958	425	給食センター
2,150	393			1,138	-	-	-
132,933	128,205	4,873	336	32,630	29,281	10,045	2,192

学 校 教 育

(学校教育課 内線 (75)5703)

学校教育は、本市はもとより国家・社会の形成者としての人間の育成の場であり、市政にとって最も重要な分野の一つとして積極的に推進しなければならない。

特に教育の機会均等を保障するとともに人間尊重の精神を基調として、児童生徒が豊かな心を持ち、自己の個性や能力に応じて自主性、創造性を発揮し、自ら学び、考え、正しく判断して行動のできる人間の育成をめざした教育を行うこととしている。

そのため、教職員の資質の向上に努め、教育内容の精選と学習指導方法の工夫改善を図り、児童生徒がその能力に応じて充実した学校生活が送られるように配慮するとともに、学力の向上や生徒指導の充実を図るなど、豊かな人間性を培う教育を推進する。

1 市内学校教育機関

(令和 5.5.1 現在)

区 分	市 立		国 立		県 立		私 立		独立行政法人		計	
	校 園 数	児 生 学 童 徒 生 数 数 数	校 園 数	児 生 学 童 徒 生 数 数 数	校 園 数	児 生 学 童 徒 生 数 数 数	校 園 数	児 生 学 童 徒 生 数 数 数	校 園 数	児 生 学 童 徒 生 数 数 数	校 園 数	児 生 学 童 徒 生 数 数 数
幼 稚 園	1	10	1	96			28	1,668			30	1,774
小 学 校	47	21,951	1	595							48	22,546
中 学 校	25	9,809	1	476	1	239	6	1,663			33	12,187
高 等 学 校					10	7,332	7	6,252			17	13,584
短 期 大 学							2	514			2	514
大 学			1	5,518	1	448	3	2,486	1	896	6	9,348
特別支援学校					5	582					5	582
大学校(航空)									3	341	3	341
各 種 学 校							2	—			2	—
専 修 学 校							20	3,080			20	3,080

2 特別支援教育

(1) 特別支援教育就学相談委員会

教育委員会の諮問に応じ、障がいのある幼児・児童及び生徒に対する適切な指導に必要な事項を調査審議するため、学識経験者、医師、関係教育機関の職員、関係福祉機関の職員、その他教育委員会が必要と認める者の中から 20 人を委嘱している。委員の任期は 2 年。

(2) 特別支援教育相談員

市特別支援教育就学相談委員会の活動を促進し、その目的を達成するため、その準備事務、事前調査、中間処理、事務処理と一貫した事務を処理するとともに、幼児等についての教育相談に応じている。併せて専門調査委員の職務を行う目的をもって、会計年度任用職員 5 名を「宮崎市教育相談センター」に配置している。

(3) 特別支援学級児童・生徒

① 小学校（令和 6.5.1 現在）

学年 障がい種別	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計	学 級 数
知的障がい	35 人	47 人	49 人	34 人	26 人	43 人	234 人	51 学級
自閉症・情緒障がい	77 人	114 人	138 人	157 人	124 人	125 人	735 人	121 学級
計	112 人	161 人	187 人	191 人	150 人	168 人	969 人	172 学級

② 中学校（令和 6.5.1 現在）

学年 障がい種別	1 年	2 年	3 年	計	学 級 数
知的障がい	32 人	34 人	42 人	108 人	26 学級
自閉症・情緒障がい	104 人	101 人	120 人	325 人	58 学級
計	136 人	135 人	162 人	433 人	84 学級

(4) 通級指導教室

① 小学校（令和 6.5.1 現在）

学年 障がい種別	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計	教 室 数
言 語	2 人	33 人	19 人	9 人	10 人	8 人	81 人	5 教室
難 聴	0 人	4 人	0 人	1 人	0 人	0 人	5 人	1 教室
情 緒	1 人	31 人	41 人	32 人	46 人	47 人	198 人	12 教室
LD, ADHD	14 人	61 人	112 人	125 人	134 人	117 人	563 人	35 教室
計	17 人	129 人	172 人	167 人	190 人	172 人	847 人	53 教室

② 中学校（令和 6.5.1 現在）

学年 障がい種別	1 年	2 年	3 年	計	教 室 数
情 緒	21 人	13 人	15 人	49 人	4 教室
LD, ADHD	20 人	36 人	21 人	77 人	7 教室
計	41 人	49 人	36 人	126 人	11 教室

*LD(学習障がい): 基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示すさまざまな状態を指すもの。

*ADHD(注意欠陥／多動性障がい): 年齢あるいは発達に不釣り合いな注意力、及び／又は衝動性、多動性を特徴とする行動の障がい、社会的な活動や学業の機能に支障をきたすもの。

(5) 生活・学習アシスタント

下肢等に障がいのある児童生徒の学習補助や生活の介助等を行うため、生活・学習アシスタントを配置し、学校生活への適応支援と保護者の負担軽減を図る。

(6) スクールサポーター

発達障がい等のある児童生徒に対して、学習指導や生活指導などのサポートを行うため、スクールサポーターを配置し、児童生徒のニーズにあった教育を推進する。

(7) 授業スタッフ/コーディネーターサポートスタッフ

特別支援学級のうち在籍数の多い学級等の支援や特別支援教育コーディネーターが特別支援教育を推進する支援のため、教員免許を有した非常勤講師を配置し、児童生徒のニーズにあった教育を推進する。

(8) 日本語指導支援員

日本語指導を必要とする児童生徒の支援の充実を図るため、日本語指導を必要とする児童生徒が在籍する小・中学校に日本語指導支援員を配置し、授業中、対象児童生徒の横につくなどして児童生徒の支援を行う。

3 生徒指導

(1) 不登校児童生徒対策事業

不登校児童生徒の相談窓口として、平成元年4月1日より適応指導教室「心の談話室」を設置し、令和2年度より、「教育支援教室」に改称した。

これまで宮崎「小戸教室」や宮崎「田吉教室」など、市内6か所で不登校児童生徒への教育相談や学習支援などを行ってきており、令和5年度には小戸教室のサテライト校として、「小戸教室サテライト神宮」、「小戸教室サテライト 里山」を新たに開設し、全8か所で不登校児童生徒の支援を行ってきた。

さらに令和6年度からは、教育支援教室に親しみやすさをもたせるために各教室を、「まなびバ！小戸教室」等に改称した。

(2) 不登校児童生徒学習支援体制整備事業

不登校支援の在り方協議会を設置し、「不登校児童生徒への支援の在り方について」(文科省通知)に基づき、不登校児童生徒に対する現状と課題について、協議会で協議し、個々の児童生徒に応じたきめ細やかな支援策等の検討の参考とする。

また、市内の小学校6校、中学校9校、計15校に校内教育支援教室を設置及び、校内教育支援指導員を配置し、別室登校の児童生徒への受入体制の充実を図るとともに、不登校支援等にかかる教職員の負担軽減を図る。

(3) 小中学校スクールカウンセリング等事業

市内の小学校9校、中学校16校にスクールアシスタントを配置し、学校の教育活動と家庭、地域社会との連携を支援し、児童生徒の自己指導能力の育成を図る。

市教育情報研修センター内の「教育相談センター」において、児童生徒、保護者、教職員等を対象に、カウンセラー(会計年度任用職員)によるカウンセリングを行い、学校におけるいじめや不登校等、学校教育全般に関わる相談を受け、問題解決を支援する。

(4) オンライン型不登校児童生徒支援事業

教育支援教室「小戸教室」に、スクールアドバイザーのほか、スクールソーシャルワーカー・支援員・学生ボランティアを配置し、学習支援や教育相談の充実を図るとともに、オンラインによる支援を行う。

(5) よりよい人間関係・学級づくりサポート事業

不登校やいじめなどを防止・改善するため、学級集団の状況を把握し、生徒一人一人に応じた対応をしていくことを目的として、市内中学校1年全学級を対象にQ-U(よりよい人間関係づくりのためのアンケート)を年2回行う。

(6) 学校における法律相談事業

学校からの相談に法的見地からの助言や判断を行うため、学校問題担当の弁護士3名(学校担当2名、教育委員会担当1名)を委嘱する。

4 就学援助

令和5年度支給状況 (被災児童生徒就学援助費を含む)

区 分	小学校		中学校		計	
	人員 (人)	支給額 (円)	人員 (人)	支給額 (円)	人員 (人)	支給額 (円)
学用品・通学用品費	3,919	50,305,293	2,302	54,123,905	6,221	104,429,198
校 外 活 動 費 (宿泊を伴わないもの)	3,352	4,829,953	770	878,981	4,122	5,708,934
校 外 活 動 費 (宿泊を伴うもの)	539	1,052,240	7	36,550	546	1,088,790
体育実技用具費	0	0	270	802,659	270	802,659
修 学 旅 行 費	751	14,673,151	685	40,589,010	1,436	55,262,161
通 学 費	32	577,470	2	104,831	34	682,301
新入学児童生徒 学 用 品 費 等	531	28,705,860	1,477	52,911,000	2,008	81,616,860
学 校 給 食 費	3,801	183,627,237	2,151	122,705,174	5,952	306,332,411
医 療 費	51	393,982	12	112,210	63	506,192
計	—	284,165,186	—	272,264,320	—	556,429,506

特別支援教育就学奨励費	510	17,683,098	168	9,292,092	678	26,975,190
-------------	-----	------------	-----	-----------	-----	------------

5 教育資金融資対策事業

教育資金融資の原資を九州労働金庫に預託することにより、低金利での融資が確保できるため、就学の機会が向上し、市民に対し広く教育を促すことを目的とする。

使 途 高校、短大、大学、専門学校等の教育資金
 限 度 額 500 万円
 償還期間 15 年以内(据置 6 年以内)
 利 率 年 1.2%(保証料別 年 0.7%～年 1.2%)

6 中学校卒業者の進路状況

(令和5年3月卒業生)

卒業生		高等学校 高等専門学校 進学者	専修学校 各種学校 進学者	特別支援 諸学校 進学者	就職者 進学率	就職者	無業者 その他	進学率
男子	1,795 人	1,723 人	32 人	8 人	0 人	17 人	15 人	98.2%
		96.0%	2.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%	
女子	1,607 人	1,539 人	48 人	6 人	0 人	11 人	3 人	99.1%
		96.0%	3.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	
合計	3,402 人	3,262 人	80 人	14 人	0 人	28 人	18 人	98.6%
		96.0%	2.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.0%	

*構成比は、四捨五入の関係で内訳と進学率が一致しないことがある。

7 コミュニティ・スクール推進事業

学校が地域住民等と目標やビジョンを共有し、学校と地域が一体となって学校運営に取り組む「地域とともにある学校づくり」を推進するため、令和2年度から「コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)」の導入を開始し、令和5年度には全ての小中学校に設置した。(ひなた中学校を除く。)

8 魅力ある授業創り推進事業

児童生徒が主体的に学習に取り組み、学びに向かう力や学力が向上するような魅力ある授業創りができるように、小中学校に非常勤講師19名を配置する。

9 スクール・サポート・スタッフ

教員の事務負担の軽減を図るため、授業準備や採点業務の補助、消毒などの新型コロナウイルス感染症対策の業務を担う。

10 学校図書館

(1) 学校司書

学校図書館を活用した授業の充実と読書活動のより一層の推進を図るため、全小学校に司書資格等を持った学校司書(会計年度任用職員)を配置し、学校図書館の充実を図る。

(2) 読書活動アシスタント

読書活動の推進を図るために、全中学校に読書活動アシスタントを配置し、図書貸出・返却業務、配架の工夫及び館内ディスプレイ、学校図書館を活用する授業への支援等を行う。

11 学校安全

(1) 安全対策

生活安全、交通安全、災害安全について、学校教育全体を通して、安全教育、安全管理を充実させ、児童生徒の生きる力を育む安全教育の推進を図る。

(2) 事故防止対策

各学校で、通学路交通安全プログラムに基づいた、通学路の合同安全点検を行い、通学路の安全確保に努めるとともに、交通安全教室等を実施し、交通安全指導の充実を図る。

12 学校体育

学校における体育に関する指導は、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものであり、特に体力の向上に関する指導については、体育の時間はもとより、特別活動や部活動等において適切に行う必要がある。そのため、教員の指導力を高めるための研修の実施や小学校の体育の授業に運動の専門的な指導のできるアシスタントを派遣すること等により、学校体育の充実発展に努める。

令和2年度より全小学校(47校)を対象に派遣している。

教育情報研修センター （教育情報研修センター 内線 4070）

昭和 43 年 4 月に宮崎市教育研究センターを開設し、本市の直面する教育的課題の解決を図るため、積極的に研究活動を行ってきた。

平成 12 年度から、中核市への県費負担教職員の研修に係る研修権限の移譲に伴い、独自の研修施設を開設する必要性に迫られた。そこで急激に進展する情報化に対応するとともに、市民や地域住民の研修や交流の場としての機能を併せ持つ複合施設を建設することとなり、平成 14 年 4 月、宮崎市教育情報研修センターを開設した。

当センターでは、現在、以下のことに取り組んでいる。

1 教職員研修

教職員の資質や実践的指導力を高めるために、基幹研修、職能研修や教科等研修、教育課題研修等を実施している。研修運営ビジョンとして、「研修内容の充実を図り、『広げる研修』」を位置付けている。また、研修としては、学校のニーズや教育の今日的課題に応じた研修講座を開設し、研修内容の工夫改善を行い、オンライン・オンデマンド研修等にも対応して行っている。

さらに、県教育研修センター等と連携を図り、基幹研修や職能研修等の一部を合同で実施し、より受講者のニーズに合った研修となるよう改善を図り、加えて、指導主事等が出向いて校内研修に対する支援を行う等、実践的な指導力向上の研修の充実を図っている。

これらの取組により、宮崎市教育ビジョンに示された、宮崎市の望ましい教職員像を具現化する拠点施設としての機能充実を図っていく。

2 教育の情報化

小・中学校共に全面実施となった学習指導要領への対応と、「GIGAスクール構想」による児童生徒 1 人 1 台のタブレット端末を活用した教育活動を促進するために、教職員の情報化に関する研修、小・中学校への ICT 支援員の派遣、家庭でのタブレット端末利用を視野に入れた情報モラル教育の充実、校務の情報化などに取り組んでいる。

3 外国語教育

児童生徒が、臆することなく外国語（英語）によるコミュニケーションができるように外国語教育・国際理解教育の充実を図り、全面実施となった小・中学校の学習指導要領に対応するため、令和元年 9 月から外国語指導助手（ALT）を 25 名に増員し、全中学校区に配置し、小学校 5・6 年生の授業及び中学校の授業においてティーム・ティーチングを実施している。

また、小学校 1 年生から 4 年生には、在住外国人を外国語活動アシスタント（FLAA）として派遣し、外国の文化などに触れる機会を設け、国際理解教育の推進に取り組んでいる。

さらに、夏季休業中のイベント実施などにより、学校外でも生きた英語に触れる機会を増やし、英語でのコミュニケーション能力の素地の育成に取り組んでいる。

4 研究員研究

本市の教育の充実・発展を目指して、今日的な教育的課題の解決や教育実践の先導的な役割を果たすための調査・研究を行うため、教諭を研究員として委嘱し、社会の変化や時代のニーズに対応したテーマを課題として、研究に取り組んでいる。

生涯学習

(生涯学習課 内線 (75)5501)
(地域コミュニティ課 内線 3488)

情報化・国際化の進展や社会の成熟化により、ゆとりややりがい求められ、自己実現に対する要求や学習意欲の高まりにより、生涯学習体系の構築が求められている。

このような時代の要請を受け、本市では、学習の場の提供と機会の拡充を推進し、関係機関・団体との連携を図りながら、市民のニーズに対応した「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学習できる生涯学習体系の構築を目指して、生涯学習推進事業に取り組んでいるところである。市民の主体的学習活動と学習の機会の拡充を図るため、地域の生涯学習の拠点である公立公民館(中央公民館)・交流センター(以下、交流センター等)での各種学級・講座の開催や社会教育関係団体の育成に努め、また、青少年の社会参加活動を促進し、青少年の健全な育成などに努めている。

さらに、住民主体のまちづくりが求められてきていることから、市長部局と共に、社会教育講座の開催、文化祭、はたちの集いといった行事を行うことで、地域と交流センター等が連携したまちづくりに取り組んでいる。

1 生涯学習の推進

本市では、市民の生涯にわたる学習活動を振興し、その学習成果が家庭生活や地域社会に生かされる環境をつくるため、昭和 63 年度から生涯学習の推進に取り組んでいる。

- ① 生涯学習の総合的推進を図るため生涯学習推進体制の整備・充実に努める。
- ② 市民の学習ニーズに応じた「社会教育講座(旧公民館講座)」を実施し、市民の自主的な学習活動の推進を図る。
- ③ 市民の生涯学習の推進とふれあいを深めるために「生涯学習フェスティバルin宮崎」の開催を支援し、地域の文化祭、中央公民館まつり、図書館まつり等を通して、生涯学習の啓発に努める。
- ④ 市職員が市民の要請に応じて出向き、説明や実習等を行う「市政出前講座」を実施する。
- ⑤ 市民が意欲をもって積極的・継続的に生涯学習に取り組むことができる学習環境の整備・充実に努めるため、さまざまな知識、特技といった「わざ」を持つ生涯学習ボランティア「夢創り人」の登録・情報提供を行っています。

2 社会教育の推進

(1) 家庭教育

家庭や家庭を取り巻く社会状況の著しい変化の中で、家庭教育の重要性はますます増大している。そのため、家庭教育に関する学習機会の充実を図ることを目的とし、全市立小中学校で実施する「家庭教育学級」、交流センター等での子ども・親子向け講座に加え、就学時健康診断時に「児童子育て講座」等を実施する。

(2) PTA

宮崎市内の小・中学校におけるPTA活動を通して、社会教育及び家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校及び地域社会が連携を深め、児童生徒の幸福な成長を図ることを目的としている。現在、PTAにおいて研修会等を通して会員相互の結束を図り、地域の連携を深めながら子どもの安全を確保し学校安全の一翼を担えるよう努めており、その活動を支援している。

(3) 成人教育

本市の成人教育は、PTA や婦人会などの社会教育関係団体の運営費助成を行うとともに、指導者養成の研修会を実施している。今後とも、団体の支援を行いながら、その活動の活性化を推進する。

(4) 人権尊重の教育

基本的な人権の尊重についての市民の理解や意識は、次第に高まってきているが、障がいのある人や性差別、いじめ問題など、様々な人権問題がまだ存在している。この現実を踏まえて、今後とも人権尊重の精神に徹し、社会にある不合理な差別について正しく認識し、真に差別をなくしていく強い意志と実践力をもった人間の育成のため、宮崎市教育基本方針等に基づき、人権尊重教育を推進する。

(5) 地域教育

「地域で子どもを育てる」ため、3中学校区を指定し、学校支援コーディネーターを配置、学校支援ボランティアの活用を行う。また、地域と学校の協議の場を設け、地域と学校の連携体制の構築を図り、地域教育力の向上を推進する。

(6) 交流センター等

交流センター等は、市民の交流の促進を図り、地域住民の連帯意識を高め、健康を増進し、情緒豊かな人づくり、住みよいまちづくりをめざす交流、地域活動及び、市民の教養を高めるための生涯学習の拠点施設である。

本市では、中央公民館のほか、交流センター等を「生涯学習(教育委員会)」と「地域活動(市長部局)」の拠点施設として位置づけ、各種事業を実施している。

平成 21 年 4 月から、教育委員会が所管する「公民館等の管理運営に関する事務」を、平成 28 年 4 月から、「公民館等の施設の維持管理及び整備に関する事務」を市長部局が補助執行により実施していたが、令和 6 年度の交流センター条例等の一部改正に伴い、中央公民館を除く公立公民館等を交流センターに位置付け、施設の名称を「交流センター」に統一した。あわせて、中学校区に1館設置する施設とその他の施設を区分するため、別館、分館の位置付けを行った。

交流センター等利用状況

館名	令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	人数	件数	人数	件数	人数	件数
中 央 公 民 館	1,283	21,418	2,048	35,676	2,184	41,075
宮崎西地区交流センター	1,420	21,724	2,137	36,014	2,299	37,530
赤江交流センター	1,086	10,861	1,738	16,451	1,767	18,674
生目地区交流センター	-	-	1,295	33,271	1,871	43,070
檉地区交流センター	813	9,686	1,328	16,752	1,406	18,126
木花地区交流センター	689	7,675	944	10,945	1,026	12,297
住吉地区交流センター	984	14,606	1,363	20,278	1,466	22,916
大淀地区交流センター	899	11,527	1,243	14,622	1,426	16,153
青島地区交流センター	639	11,711	826	13,812	946	16,098
大宮地区交流センター	901	11,173	1,308	16,769	-	-
本郷地区交流センター	1,184	13,698	1,792	20,790	1,918	23,253
大塚地区交流センター	994	12,277	1,477	16,544	1,633	19,253
生目南地区交流センター	949	11,225	1,101	13,440	1,319	17,293
北地区交流センター	1,781	25,067	2,720	35,171	2,845	34,858
東大宮地区交流センター	1,035	15,785	1,594	24,108	1,794	28,380
宮崎東地区交流センター	982	14,792	1,508	23,754	1,832	30,656
宮崎地区交流センター	1,101	25,875	1,732	39,537	1,917	41,718
赤江東地区交流センター	821	17,264	1,206	24,264	1,272	24,694
生目台地区交流センター	1,057	20,962	1,491	30,456	1,637	35,599
佐土原地区交流センター	965	16,034	1,492	21,447	1,442	25,893
広瀬地区交流センター	1,116	12,762	1,753	19,900	1,838	22,352

久峰地区交流センター	1,724	26,654	2,419	44,990	2,760	55,100
久峰地区交流センター別館	474	8,022	763	11,299	812	11,135
田野地区交流センター	547	9,916	812	19,428	800	21,050
田野地区交流センター東分館	62	498	58	557	59	1,128
田野地区交流センター西分館	115	1,630	181	2,992	214	3,039
田野地区交流センター南分館	77	569	106	1,030	126	1,738
田野地区交流センター北分館	93	861	85	899	100	1,130
高岡地区交流センター	544	6,190	954	11,189	918	12,874
清武地区交流センター	672	10,524	1,030	14,796	1,257	16,526
加納地区交流センター	1,230	16,220	1,863	24,680	2,206	27,148
計	26,237	387,206	40,367	615,861	43,090	680,756

※大宮地区交流センターは、長寿命化改修のため、令和5年4月1日から休館し、令和6年4月15日から再開

3 青少年教育の推進

(1) 青少年活動の支援と社会参加の促進

豊かな自然を利用した「野外体験活動」や、宮崎市子ども会育成連絡協議会への「砂の造形コンクール」事業補助などの実施により、子どもたちの健全育成を図っている。

また、リーダーの育成のため、小学校高学年を対象にした「イン・リーダー研修会」や中学生と高校生を対象にした「ジュニア・リーダー研修会」を実施するなどの事業を行っている。

(2) 青少年の非行や問題行動の防止

青少年育成センターを中心に、青少年指導委員に対する研修会の開催や地区青少年育成協議会活動の支援を通じて健全育成運動を推進するとともに、関係機関・団体との連携により指導・相談活動を実施している。

また、「なやむなテレホン」「なやむなメール」を開設して様々な悩みや困りごと等の相談を受け付け適切な指導や助言を行っている。

(3) 放課後子ども教室の開催

放課後や週末等に、学校の余裕教室や体育館、交流センター等を利用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点(居場所)をつくり、地域住民の参画を得て子どもたちの活動を見守る環境づくりを行っている。

佐土原交流プラザ

(佐土原地域市民福祉課 内線(72)245)

(地域コミュニティ課 内線 3488)

(生涯学習課 内線 (75)5509)

市民の生涯学習活動及び文化活動の拠点となる使いやすさを重視した大ホール、小ホールと生涯学習及び地域コミュニティ活動の拠点施設としての研修室、和室等もあり、日頃の活動や学習の成果を試すことのできる施設となっている。

1 施設の概要

所在地	宮崎市佐土原町下田島 20527 番地 4(佐土原図書館併設)
建物延床面積	6,261.8 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地上 1 階(一部地上 3 階)
事業費	2,322,000 千円
休館日	毎週火曜日、12/29～1/3
開館日	平成 16 年 10 月 8 日

2 施設の内容

佐土原文化ホール	大ホール	座席数:622 席(車椅子 8 席 親子席 10 席含む)
久峰地区 交流センター	小ホール	座席数:240 席(移動式)
	研修室	3 室(各 30 名):1 室(90 名)としても使用可
	和室	50 畳:2 室に分割使用可
	その他	調理実習室(1 室)、洋室(1 室)、創作室(1 室)、視聴覚室(1 室)、情報研修室(1 室)

※佐土原文化ホール・久峰地区交流センター 駐車場:255 台

3 事業の概要

令和 5 年度実績

○総入館者数	105,145 人
○開館日数	309 日
○利用率	大ホール 30.96% 小ホール 51.63%

図 書 館

(生涯学習課 内線 (75)5509)

1 宮崎市立図書館

宮崎市立図書館は、平成 6 年 5 月 21 日に開館し、図書館資料及び視聴覚資料を整備し利用に供するとともに、市民の文化活動や読書普及活動の推進に努めている。また、高度情報化社会における地域情報拠点としての機能を果たすため、コンピュータを導入し、利便性の高い機能を備え、交流センター等や学校とのネットワークの整備を図りながら、「学ぶ 楽しむ ふれあう図書館」のキャッチフレーズのもと、誰もが気軽に、そして身近に利用できる施設として整備充実に努めている。

また、市とボランティア団体とが対等なパートナーシップに基づいた協働関係をつくり、市民への良質なサービスを提供して市民に開かれた親しみやすい図書館づくりに努めている。

図書館利用状況

年 度	入館者数	貸出人数	貸出冊数	予約冊数	新規登録者 (再発行除く)
令和 3 年度	217,122 人	163,229 人	642,862 冊	137,347 冊	1,944 人
令和 4 年度	242,878 人	164,059 人	639,373 冊	134,098 冊	1,799 人
令和 5 年度	265,237 人	163,158 人	627,779 冊	83,475 冊	2,032 人

視聴覚教材・教具利用状況

年 度	利用者数	利用回数	利用本数
令和 3 年度	3,710 人	148 回	135 本
令和 4 年度	2,778 人	100 回	159 本
令和 5 年度	4,268 人	229 回	167 本

2 宮崎市立佐土原図書館

宮崎市立佐土原図書館は、平成 16 年 10 月 8 日に開館し、広範囲にわたる図書館資料の収集、整理及び保存に努め、その利用促進を図るとともに、学校図書室や交流センター等図書室との連携に努めている。

また、生涯学習施設を併設する複合館の利便性を生かし、「気軽に誰でも利用できる」図書館として読書普及活動のみならず、文化活動を推進することにより、地域住民が学習し視野を広げて豊かな生活を送るための図書館づくりに努めている。

図書館利用状況

年 度	入館者数	貸出人数	貸出冊数	予約冊数	新規登録者 (再発行除く)
令和 3 年度	111,635 人	53,958 人	235,487 冊	4,775 冊	519 人
令和 4 年度	131,257 人	50,994 人	218,110 冊	4,450 冊	455 人
令和 5 年度	149,973 人	51,793 人	219,742 冊	4,207 冊	614 人

3 宮崎市子ども電子図書館

宮崎市子ども電子図書館は令和 5 年 4 月よりサービスを開始した。GIGA スクール構想により配布されるタブレットで生徒児童が電子図書館を活用することを想定し、公立小・中学校等への電子図書館限定 ID の配付を実施し、居住地や保護者の状況等に囚われず、子ども達に平等な読書機会の提供を図るよう努めている。

子ども電子図書館利用状況

年 度	ログイン回数	閲覧回数	貸出冊数
令和 5 年度	253,597 人	760,038 人	45,675 冊

学 校 保 健

(保健給食課 内線 (75)5815)

1 学校保健

宮崎市学校保健会と協力し、学校保健研究の推進をはじめとして学校保健の向上を図る一方、宮崎市郡医師会、宮崎市郡歯科医師会及び宮崎市郡薬剤師会等と連携を図りながら、各種検診・検査等を実施し疾病の早期発見に努めるとともに、児童生徒および教職員の健康の維持・増進、保健指導、学校環境衛生の整備改善に努力している。

(1) 学校フッ化物応用事業

児童生徒の歯質強化によるむし歯予防促進のため宮崎市立学校におけるフッ化物洗口を平成22年度から年次的に導入し、平成29年度から全ての小中学校において実施していた。

令和2年度から令和4年度まで、新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により、実施を休止する学校が増加していたが、令和5年度からは学校の実情に応じて実施している。

2 学校安全

(1) 災害給付事業

日本スポーツ振興センターとの災害共済給付契約により、学校管理下で発生した災害について必要な給付を行っている。

日本スポーツ振興センター加入状況並びに医療費給付の状況(令和5年度)

区 分	加 入 状 況				給 付 状 況	
	契約人員 (人)	共 済 掛 金 (円)			給付件数 (件)	給付金 (円)
		保護者負担	市 負 担	計		
小 学 校	21,938	8,359,120	12,018,545	20,377,665	1,428	2,755,640
中 学 校	9,785	3,439,880	5,592,440	9,032,320	1,455	6,411,642
幼 稚 園	10	2,200	935	3,135	0	0
計	31,733	11,801,200	17,611,920	29,413,120	2,883	9,167,282

※給付件数は延べ数

(2) 事故防止対策

児童生徒、教職員、学校施設利用者および周辺住民などの救命活動に対応するため、AED(自動体外式除細動器)を平成19年度から年次的に全小中学校へ配置し、平成21年度までに全校への配置が完了した。令和2年度より新規リース契約時に各学校へ設置場所の意向調査を行い、AEDの屋外設置を進めている。令和5年度の屋外設置は32校となっている。また、救急救命講習会の開催について指導を行っている。

学 校 給 食

(保健給食課 内線 (75)5811)

1 学校給食の概要

学校給食は学校教育の一環として実施され、児童生徒の心身の健全な発達、食事を通しての望ましい人間関係の育成等に努めてきた。

本市の学校給食は、昭和 22 年 1 月から市内の小学校において始まり、昭和 29 年の「学校給食法」の制定を受け、昭和 30 年 11 月に、潮見小学校、恒久小学校から完全給食を開始し、平成 7 年 4 月に小中学校 53 校全校の完全給食を達成することができた。

現在、旧宮崎市内では、小学校 35 校全校と、中学校 18 校のうち 10 校が単独(自校)調理場方式、残りの 8 校が共同調理場(センター)方式の 2 方式により給食を実施している。

また、昭和 56 年度から自校炊飯方式により週 1 回の米飯給食を導入し、昭和 63 年度からは週 2 回、平成 4 年度からは週 3 回の米飯給食を実施している。

なお、佐土原町、田野町、高岡町、清武町の小中学校 19 校については、合併前に引続き、旧町域ごとに共同調理場(センター)方式により実施している。

2 運営管理

(1) 単独調理場方式の学校

各学校では学校長、給食主任等による給食に関する運営委員会をつくり、給食指導を含め学校給食の円滑な実施と充実に努めている。なお、平成 12 年度から順次食材加工等業務を民間に委託している。

(令和 6.5.1 現在)

小中別	直営		民間委託	
	学校数	食数	学校数	食数
小学校	4 校	2,014 食	31 校	15,820 食
中学校	—	—	10 校	4,109 食

(2) 学校給食センター

管理と運営は市が行い、調理業務と配送業務の一部は民間に委託している。

また、物資選定や購入等については、それぞれの学校給食センターごとに「学校給食会」を組織して実施している。

(令和 6.5.1 現在)

名 称	配送校数		食数	調理	配送	炊飯設備
	小学校	中学校				
中央学校給食センター	—	8 校	3,925 食	委託	委託	有
佐土原学校給食センター	5 校	3 校	3,338 食	直営	委託	無
田野学校給食センター	2 校	1 校	1,116 食	直営	委託	無
高岡学校給食センター	2 校	1 校	929 食	委託	委託	有
清武学校給食センター	3 校	2 校	2,660 食	委託	委託	有

(3) 献立作成委員会

栄養教諭・学校栄養職員、市栄養士、調理員代表等による献立作成委員会を開催し、学校現場の声を反映させるなど、児童生徒にとって「魅力ある楽しい学校給食」づくりに努めている。

(4) 衛生管理

食中毒や感染症予防のため、施設設備の改善、給食用物資の検収の徹底、調理員の研修等による意識の向上を図るなどの対策を講じている。

(5) 食育の推進

学校給食における食育の推進を図るため、「食育推進事業」により、その取り組みを支援している。

また、地産地消の推進及び様々な経験を通して「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得することができる児童生徒を育てることを目的とした食育事業を各学校で実施している。

3 給食実施状況

(令和 6.5.1 現在)

調 理 区 分		学校、児童生徒数		平均予定回数	1食単価 (試算額)	平均月額	平均年額
単 独 調 理 場 方式の学校	小学校	35校	16,451人	200回	273.92円	5,000円	54,784円
	中学校	10校	3,797人	200回	326.21円	6,000円	65,242円
中 央 学 校 給食センター	小学校	—	—	—	—	—	—
	中学校	8校	3,695人	206回	326円	6,200円	67,156円
佐 土 原 学 校 給食センター	小学校	5校	2,096人	204回	273円	5,100円	55,692円
	中学校	3校	1,005人	205回	326円	6,100円	66,830円
田 野 学 校 給食センター	小学校	2校	701人	202回	273円	5,100円	55,146円
	中学校	1校	319人	201回	326円	6,000円	65,526円
高 岡 学 校 給食センター	小学校	2校	597人	198回	273円	5,000円	54,054円
	中学校	1校	250人	196回	326円	5,900円	63,896円
清 武 学 校 給食センター	小学校	3校	1,686人	200回	273円	5,000円	54,600円
	中学校	2校	792人	198回	326円	5,900円	64,548円

文 化 財

(文化財課 85-1178)

1 文化財

本市の指定文化財件数は令和 6 年 5 月 1 日現在、有形文化財 58 件、無形文化財 2 件、有形民俗文化財 2 件、無形民俗文化財 18 件、史跡 49 件、天然記念物 23 件、合計 152 件となっている。

文化財に関する事業としては、これまでの市ホームページによる文化財紹介や市政出前講座に加え、所在地への案内冊子の作成・配布、説明板・標柱の設置、また、学校教育との関連においては、しらふじ(倉岡小学校)、船引、中野の各愛護少年団が文化財愛護と環境保護意識の啓発と活動に努めている。

史跡整備としては、国指定史跡の「生目古墳群」「佐土原城跡」「本野原遺跡」「穆佐城跡」「蓮ヶ池横穴群」について、それぞれの史跡の特徴を生かした保存整備事業を計画的に進めている。平成 21 年 4 月に開館した「生目の杜遊古館」は、埋蔵文化財センターと体験学習館の施設を有する。

民俗芸能伝承事業としては、昭和 62 年度から民俗芸能の登録制度を設け、その掘り起こしと記録保存に努めている。また、各地域に伝承されている民俗芸能に発表の場を提供する「みやざき民俗芸能まつり」を毎年開催し、市民が民俗芸能を鑑賞する機会を提供している(令和 2,3 年度はコロナウイルス感染拡大防止のため中止、令和 4 年度より再開)。田野伝承芸能館においては、民俗芸能の練習や太鼓の保管施設として、市民に民俗芸能の伝承の場を提供している。

その他の事業としては、各種開発事業による文化財保護上の事務手続きや記録保存のための埋蔵文化財の発掘調査、天然記念物・史跡の保護と環境保全等の指定文化財を中心とした保護管理事業を行っている。

2 指定文化財一覧表

(1) 国指定文化財(令和 6 年 5 月 1 日現在)

番号	種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
1	重 要 文 化 財	木造薬師如来及び両脇侍像三軀	大字瓜生野 1068 番地(王楽寺)	昭 19. 9. 5
2	〃	旧黒木家住宅	神宮 2 丁目(県総合博物館屋外)	昭 48. 2. 23
3	〃	旧藤田家住宅	〃	昭 48. 2. 23
4	〃	木造騎獅文殊菩薩及脇侍像(五軀) 附木造天蓋一面	佐土原町上田島 767 番地(大光寺)	昭 19. 9. 5
5	〃	乾峯土曇墨蹟(六種)	〃	昭 40. 5. 29
6	〃	巨田神社本殿一棟 附棟札 22 枚	佐土原町上田島 10732 番地 1 (巨田神社)	昭 53. 5. 31
7	〃	木造神王面(宝治二年銘) 附木造神王面(天文五年銘)	大字生目 345 番地(生目神社)	平 30. 10. 31
8	〃	木造乾峯土曇坐像(一軀) 木造岳翁長甫坐像(一軀)	佐土原町上田島 767 番地(大光寺)	平 30. 10. 31
9	〃	宮崎県下北方五号地下式横穴墓 出土品	大字跡江 4200 番地 3 (生目の杜遊古館)	令 2. 9. 30
10	重要有形民俗文化財	日向の山村生産用具	神宮 2 丁目(県総合博物館)	平 5. 4. 15
11	史 跡	生目古墳群	大字跡江字井尻ほか	昭 18. 9. 8 平 19. 2. 6
12	〃	蓮ヶ池横穴群	大字芳土字岩永迫	昭 46. 7. 17
13	〃	佐土原城跡	佐土原町上田島追手ほか	平 16. 9. 30
14	〃	本野原遺跡	田野町字本野原	平 16. 9. 30 平 18. 1. 26

番号	種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
15	史 跡	穆佐城跡	高岡町小山田 918 番地ほか	平 14. 3. 19 平 29. 10. 13
16	〃	安井息軒旧宅	清武町加納(字中ノ尾) 甲 3368 番地 1	昭 54. 5. 22
17	特別天然記念物	青島亜熱帯性植物群落	青島 2 丁目(青島神社境内)	昭 27. 3. 29
18	〃	内海のヤッコソウ発生地	大字内海字下大谷	昭 27. 3. 29
19	天 然 記 念 物	青島の隆起海床と奇形波蝕痕	大字折生迫 青島海岸ほか	昭 9. 5. 1
20	〃	内海のアコウ	大字内海字磯平 6227 番地 (野島神社境内)	昭 16. 10. 3
21	〃	宮崎神社のオオシラフジ	神宮 2 丁目(宮崎神宮境内)	昭 26. 6. 9
22	〃	瓜生野八幡のクスノキ群	大字大瀬町 5714 番地 (八幡神社境内)	昭 26. 6. 9
23	〃	双石山	大字鏡洲	昭 44. 8. 22
24	〃	高岡の月知梅	高岡町高浜梅元 323 番地 2	昭 10. 12. 24
25	〃	去川のイチョウ	高岡町内山 3704 番地 1	昭 10. 12. 24
26	〃	清武の大クス	清武町船引 6622 番地 (船引神社境内)	昭 26. 6. 9

(2) 県指定文化財(令和 6 年 5 月 1 日現在)

番号	種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
27	有 形 文 化 財	木造阿弥陀如来坐像一軀	神宮 2 丁目(県総合博物館)	昭 40. 8. 17
28	〃	米良の民家旧黒木幸見家住宅	神宮 2 丁目(県総合博物館屋外)	昭 52. 4. 1
29	〃	椎葉の民家旧清田司家住宅	〃	昭 52. 4. 1
30	〃	土持文書	神宮 2 丁目(県総合博物館)	昭 58. 1. 21
31	〃	妙円寺跡石塔群	大字浮田字中間 439 番地、440 番地	平 15. 10. 16
32	〃	金剛寺文書	大字芳士 2258 番地 3 (旧みやざき歴史文化館寄託)	平 18. 3. 23
33	〃	銅鰐口	神宮 2 丁目(県総合博物館)	平 30. 9. 10
34	〃	木造地藏菩薩半跏像(一軀)	佐土原町上田島 767 番地(大光寺)	昭 40. 8. 17
35	〃	巨田神社摂社若宮社、今宮社	佐土原町上田島 10732 番地 1 (巨田神社)	昭 58. 1. 21
36	〃	五輪塔	清武町木原 6329 番地 1	昭 41. 7. 17
37	〃	旧二見家住宅	高岡町内山 3627 番地	平 30. 2. 26
38	無 形 民 俗 文 化 財	青島臼太鼓踊り	青島地区	平 18. 3. 23
39	〃	巨田池の鴨網猟	佐土原町上田島巨田地区	平 18. 3. 23
40	〃	船引神楽	清武町船引地区	平 3. 3. 15
41	〃	生目神楽	大字生目 345 番地(生目神社)	令 4. 9. 8
42	史 跡	谷村計介旧宅跡	大字糸原下馬場	昭 8. 12. 5
43	〃	赤江町古墳	赤江地区一円	昭 8. 12. 5
44	〃	倉岡村古墳	倉岡地区一円	昭 8. 12. 5
45	〃	青島村古墳	青島地区一円	昭 10. 7. 2
46	〃	宮崎市大淀古墳	大塚地区一円	昭 12. 7. 2
47	〃	木花村古墳	木花地区一円	昭 12. 7. 2
48	〃	住吉村古墳	住吉地区一円	昭 14. 1. 27 昭 19. 12. 15
49	〃	宮崎山下北方古墳	下北方地区一円	昭 14. 4. 21
50	〃	生目村古墳	生目地区一円	昭 19. 12. 15

番号	種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
51	史 跡	瓜生野村古墳	瓜生野地区一円	昭 19. 12. 15
52	〃	池内横穴	平和が丘西町	昭 47. 5. 26
53	〃	船塚古墳	神宮 2 丁目(宮崎神宮境内)	昭 52. 4. 1
54	〃	古月禅師分骨塔	佐土原町上田島 767 番地 (大光寺境内)	昭 9. 4. 17
55	〃	佐土原町古墳	佐土原町上田島字居穴口ほか	昭 10. 7. 2
56	〃	那珂村古墳	佐土原町東上那珂字牛ヶ迫ほか	昭 12. 7. 2
57	〃	広瀬村古墳	佐土原町下那珂七ヶ廻ほか	昭 14. 1. 27
58	〃	僧日講遺跡	佐土原町上田島今坂	昭 17. 6. 23
59	〃	去川の関跡	高岡町内山(国道 10 号線敷)	昭 8. 12. 5
60	〃	高岡町古墳	高岡町花見	昭 17. 6. 23
61	〃	清武上猪ノ原遺跡	清武町船引 5582 番地 1	平 27. 2. 23
62	天 然 記 念 物	アカウミガメ及びその産卵地	こどものくに南端から大炊田海岸	昭 55. 6. 24
63	〃	天林寺のオハツキイチョウ	新別府町麓 418 番地(天林寺境内)	昭 60. 12. 17

(3) 市指定文化財(令和 6 年 5 月 1 日現在)

番号	種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
64	有 形 文 化 財	木造六観音像	大塚町城ノ下 2825 番地(長久寺)	昭 48. 3. 12
65	〃	舞楽面陵王	大字新名爪 4449 番地 (新名爪八幡宮)	昭 48. 3. 12
66	〃	木造阿弥陀如来立像一軀	大字熊野 9508 番地(木花神社)	昭 49. 4. 15
67	〃	木造十一面観音立像一軀	大字広原 4406 番地(畑公民館)	昭 49. 4. 15
68	〃	木喰行道筆 南無薬師如来書画幅一軸	大字金崎 914 番地(朝倉寺)	昭 58. 3. 16
69	〃	木喰行道作 千手千眼十一面観音立像一軀	大字有田(個人)	昭 58. 3. 16
70	〃	下郷遺跡出土絵画土器	大字跡江 4200 番地 3 (生目の杜遊古館)	平 14. 10. 28
71	〃	生目神社木造神面(二面)	大字生目 345 番地(生目神社)	平 16. 3. 29
72	〃	商家「旧阪本家」	佐土原町上田島 1601 番地 2	平 12. 5. 23
73	〃	二ッ建天神社天満縁起絵詞	佐土原町下田島 8202 番地 1 (佐土原歴史資料館寄託)	平 17. 10. 26
74	〃	梅谷橋(石橋)	田野町梅谷	平 15. 6. 10
75	〃	黒草水路橋	田野町楠原	平 15. 6. 10
76	〃	河上家武家門	高岡町内山 2899 番地 1	昭 54. 1. 24
77	〃	高岡名勝志	高岡町内山 3003 番地 56 (天ヶ城歴史民俗資料館)	昭 54. 1. 24
78	〃	練士館の扁額	〃	昭 54. 1. 24
79	〃	高岡郷士高帳	〃	昭 61. 1. 20
80	〃	市来家長屋門	高岡町五町 354 番地	平 9. 6. 19
81	〃	安藤家武家門と石垣	高岡町五町 266 番地	平 10. 4. 16
82	〃	赤谷橋	高岡町浦之名字赤谷 (県道赤谷橋山線道路敷)	平 14. 8. 12
83	〃	鶉木橋	〃	平 14. 8. 12
84	〃	木造弘法大師像	大塚町城ノ下 2825 番地(長久寺)	平 20. 12. 1

番号	種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
85	有 形 文 化 財	安井文庫 29 点	清武町加納甲 3378 番地 1 (安井息軒記念館)	昭 45. 7. 23
86	〃	弥勒寺六地藏塔	清武町船引字柿ノ木田(赤道)	昭 53. 9. 8
87	〃	神宮寺六地藏塔	清武町船引	昭 53. 9. 8
88	〃	内山寺仁王像	清武町船引 1592 番地	昭 53. 9. 8
89	〃	安井息軒衣服 18 点	清武町加納甲 3378 番地 1 (安井息軒記念館)	昭 53. 9. 8
90	〃	安井息軒書簡	〃	昭 53. 9. 8
91	〃	炎尾権現御本地文書	〃	昭 56. 2. 1
92	〃	船引神社雲竜巻柱	清武町船引 6622 番地(船引神社)	昭 61. 3. 31
93	〃	黒坂観音仁王像	清武町木原 6329 番地 1	昭 61. 3. 31
94	〃	黒坂観音厨子	〃	昭 62. 12. 11
95	〃	千手観音自在菩薩	〃	昭 62. 12. 11
96	〃	秋葉大権現像	清武町加納甲 3378 番地 1 (安井息軒記念館)	平 22. 2. 3
97	〃	神崎家武家門 附石垣 3 基	高岡町内山字大手迫 2818 番地	平 26. 5. 12
98	〃	長野家武家門 附石垣 2 基	高岡町内山字雁ヶ峰 2801 番地 3	平 26. 5. 12
99	〃	濱田家武家門 附石垣 3 基	高岡町五町字井ノ上 129 番地	平 26. 5. 12
100	〃	吉富家武家門 附石垣 2 基	高岡町内山字中村 2879 番地	平 26. 5. 12
101	〃	大光寺文書	佐土原町上田島 767 番地(大光寺)	令 2. 12. 21
102	無 形 文 化 財	高岡の鶴賀新内	伝承者 鳥越フミ子氏 (市指定無形文化財保持者)	平 9. 6. 19
103	〃	高岡じょっさい	〃	平 10. 4. 16
104	有 形 民 俗 文 化 財	花見神楽の面	高岡町内山 3003 番地 56 (天ヶ城歴史民俗資料館寄託)	平 14. 8. 12
105	無 形 民 俗 文 化 財	木花相撲踊り	大字熊野	平 3. 5. 21
106	〃	下北方六月踊り	下北方町	平 15. 3. 28
107	〃	巨田神楽	佐土原町上田島巨田地区	平 5. 3. 25
108	〃	曾我兄弟踊り	佐土原町下田島大炊田地区	平 7. 11. 8
109	〃	佐賀利いろは口説踊り	佐土原町下田島佐賀利地区	平 10. 2. 26
110	〃	田野町雨太鼓	田野町一円	昭 49. 9. 26
111	〃	鷺瀬地区城攻め踊り	田野町上鷺瀬・下鷺瀬地区	平 11. 7. 9
112	〃	船引臼太鼓踊り	清武町船引地区	昭 45. 7. 23
113	〃	船引破魔太鼓	〃	昭 61. 3. 31
114	〃	中木原破魔太鼓	清武町中木原地区	昭 61. 3. 31
115	〃	黒坂・永田破魔太鼓	清武町黒坂・永田地区	昭 61. 3. 31
116	〃	はまくだり歌	清武町木原地区	昭 61. 3. 31
117	〃	野島神楽	大字内海 6227 番地(野島神社)	平 25. 10. 31
118	〃	高屋神社神楽	村角町橘尊 1975 番地(高屋神社)	平 28. 3. 3
119	史 跡	城ヶ崎俳人墓碑並びに板碑群	恒久 3 丁目 20 番地 13	昭 47. 3. 10
120	〃	広原横穴第 1 号(線刻壁画)	大字広原字菅牟田 7594 番地	昭 57. 2. 12
121	〃	小村薬師堂石塔群	大字生目字一丁田 3100 番地 大字生目字一丁田 3094 番地丙 (小村薬師堂)	昭 63. 8. 25

番号	種 別	名 称	所 在 地	指定年月日
122	史 跡	島津家久・豊久公墓二基	佐土原町上田島西野久尾 (天昌寺跡)	昭 54. 4. 1
123	〃	佐土原藩島津家御廟所(高月院)	佐土原町上田島 8079 番地 (高月院境内)	平 16. 8. 20
124	〃	佐土原藩島津家御廟所(大光寺)	佐土原町上田島 767 番地 (大光寺境内)	平 16. 8. 20
125	〃	野田泉光院の墓	佐土原町上田島 757 番地 3	平 17. 10. 26
126	〃	仏堂園群像仏	田野町甲 9730 番地	平 15. 6. 10
127	〃	龍福寺仁王尊	高岡町内山頭本瀬	昭 54. 1. 24
128	〃	去川関所御定番二見家墓石群	高岡町内山前田	昭 54. 1. 24
129	〃	八代藩主島津久豊の墓	高岡町小山田山子 3574 番地 2	昭 54. 1. 24
130	〃	天ヶ城址	高岡町内山 2375 番地 2 ほか	昭 54. 1. 24
131	〃	高木兼寛生誕地	高岡町小山田太良山 2465 番地 1・ 2465 番地 2	昭 63. 4. 18
132	〃	稲津掃部助の墓	清武町加納甲 1003 番地	昭 45. 7. 23
133	〃	清武城趾	清武町加納甲 776 番地 2・ 777 番地 2	昭 45. 7. 23
134	〃	伊東家僑墓	清武町加納丙 1474 番地	昭 53. 9. 8
135	〃	伊東祐堯公墓	清武町船引(個人)	昭 53. 9. 8
136	〃	歴代安井家墓地	清武町加納丙 1474 番地	昭 53. 9. 8
137	〃	河崎権助の墓	清武町加納甲 1941 番地 47	昭 53. 9. 8
138	〃	蓮徳寺墓碑群	清武町加納丙 1393 番地	昭 53. 9. 8
139	〃	玄松院開山の碑	清武町加納甲 3377 番地 2	昭 61. 3. 31
140	〃	河崎駿河守墓	清武町加納丙 1474 番地	昭 61. 3. 31
141	〃	山内石塔群	清武町木原 6327 番地 1・ 6325 番地 1	昭 63. 3. 31
142	天 然 記 念 物	生目神社のオガタモノキ	大字生目 345 番地(生目神社境内)	昭 48. 3. 12
143	〃	生目神社のクスノキ	〃	昭 48. 3. 12
144	〃	倉岡小学校のシロバナフジ	大字糸原 538 番地 (倉岡小学校内)	平 10. 8. 3
145	〃	はぜ馬場のはぜ並木	佐土原町下田島新城・佐賀利	昭 54. 4. 8
146	〃	名木いちよう	田野町乙 3317 番地 6	昭 53. 3. 1
147	〃	ヤマザクラ(天神)	田野町乙 300 番地 14	平 17. 12. 2
148	〃	島津忠国の誕生杉	高岡町小山田麓 940 番地 2	昭 54. 1. 24
149	〃	高岡町のヤッコソウ自生地	高岡町小山田(国有林内)	平 17. 12. 19
150	〃	船引神社のヤッコソウ	清武町船引 6622 番地 (船引神社境内)	昭 45. 7. 23
151	〃	紅梅	清武町船引(個人)	昭 48. 7. 26
152	〃	琉球豆柿	清武町加納甲(個人)	昭 48. 7. 26

(4) 登録文化財(令和 6 年 5 月 1 日現在)

番号	種 別	名 称	所 在 地	登録年月日
153	有 形 文 化 財	宮崎神宮神殿	神宮 2 丁目(宮崎神宮境内)	平 22. 1. 15
154	〃	宮崎神宮幣殿	〃	平 22. 1. 15

番号	種 別	名 称	所 在 地	登録年月日
155	有 形 文 化 財	宮崎神宮渡殿	神宮 2 丁目(宮崎神宮境内)	平 22. 1. 15
156	〃	宮崎神宮神饌所	〃	平 22. 1. 15
157	〃	宮崎神宮御料屋	〃	平 22. 1. 15
158	〃	宮崎神宮透間垣	〃	平 22. 1. 15
159	〃	宮崎神宮拝所	〃	平 22. 1. 15
160	〃	宮崎神宮正門	〃	平 22. 1. 15
161	〃	宮崎神宮玉垣	〃	平 22. 1. 15
162	〃	宮崎神宮石柵	〃	平 22. 1. 15
163	〃	宮崎神宮徴古館	〃	平 22. 1. 15
164	〃	黒北発電所	清武町船引 3544 番地	平 9. 5. 7
165	〃	池田家住宅主屋	別府町 53 番地 1	平 24. 2. 23
166	〃	奈良家住宅主屋	旭 1 丁目 106 番地	平 25. 12. 24
167	〃	奈良家住宅別棟	〃	平 25. 12. 24
168	〃	松浦家住宅石蔵	大字柏原字高野迫 986 番地イ	平 28. 2. 25
169	〃	松浦家住宅門柱及び石塀	〃	平 28. 2. 25
170	〃	土器屋家住宅石蔵	大字富吉 4869 番地 3	平 28. 2. 25
171	〃	土器屋家住宅石塀	大字富吉 4869 番地 2 他	平 28. 2. 25
172	〃	宮崎県庁舎本館	橘通東 2 丁目 35 番地	平 29. 5. 2
173	〃	宮崎県庁舎正門門柱	〃	平 29. 5. 2
174	〃	宮崎県庁舎東門門柱	〃	平 29. 5. 2
175	〃	青木橋	大字富吉	平 29. 5. 2
176	〃	旧宮崎農工銀行(宮崎県庁 5 号館)	橘通東 1 丁目 44 番地	令 3. 10. 14
177	記 念 物	賀来飛霞標本	神宮 2 丁目(県総合博物館)	平 22. 8. 5

(5) 宮崎市の指定文化財内訳(令和 6 年 5 月 1 日現在)

種 別	国指定	県指定	市指定	合 計
重要文化財(有形文化財)	9	11	38	58
重要有形民俗文化財(有形)	1		1	2
無形文化財			2	2
無形民俗文化財		4	14	18
史跡	6	20	23	49
特別天然記念物	2			2
天然記念物	8	2	11	21
合計	26	37	89	152

(6) 宮崎市の登録文化財内訳(令和 6 年 5 月 1 日現在)

種 別	登録
有形文化財	24
記念物	1
合計	25

宮崎科学技術館

(生涯学習課 内線 (75)5509)

宮崎科学技術館は、昭和 62 年 8 月 1 日に、市制 60 周年記念事業として「科学と遊ぶ」をテーマに建設され、数多くのユニークな展示物や世界最大級のプラネタリウムドームを有している。

平成 16 年 5 月 1 日にはリニューアルオープンし、アポロ 11 号月面着陸船実物大模型や新しい恒星投映機などが導入されるなど、子どもからお年寄りまで楽しみながら科学を学べる施設となっている。

1 施設の概要

名 称	宮崎科学技術館「愛称 コスモランド」
所 在 地	宮崎市宮崎駅東 1 丁目 2 番地 2
敷 地 面 積	5,400 m ²
建物延床面積	6,419 m ²
建 築 構 造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上 3 階(一部 4 階)建て
事 業 費	4,106,618 千円(リニューアル分含む)
休 館 日	月曜日(休日を除く)、休日の翌日(土・日曜日、休日を除く)、 12/29～1/3、臨時休館日

(1) 展示の概要

6つのコーナーを設け、楽しく学べる体験型装置を数多く展示している。(1～2階)

- ①太陽の都市・みやざき ②生きている地球 ③宇宙への夢 ④科学のふしぎの国
⑤先端技術の世界 ⑥エネルギーランド

(2) プラネタリウム

最新の恒星投映機 SUPER-HELIOS により直径 27mのドームに 7.9 等星まで約3万8千個の星々を投映することができ、全天周ビデオ投映システムとライブ解説を組み合わせるなど、夢とロマンにあふれる番組を上映している。(3階、座席 280 席)

2 事業の概要

(1) 令和5年度実績

- 総入館者数 134,359 人(大人 64,064 人、小人 70,295 人)
○内 訳 個人 117,731 人 団体 16,628 人
広域圏児童生徒 9,230 人 広域圏外児童生徒 5,264 人
○開館日数 304 日 ○一日平均利用者 442 人

(2) 各種教室・講座、イベント等の開催

不思議なサイエンスショーやダ・ヴィンチ工房などの科学実験・工作をはじめ初心者を対象としたパソコン教室、天文教室、天体観望会等を開催している。また、青少年のための科学の祭典やプラネタリウムでのコンサート、科学に関する企画などの様々なイベントも行っている。

(3) 利用案内

区 分	展 示 室		展示とプラネタリウム	
	大 人	小 人	大 人	小 人
個 人	550 円	210 円	760 円	310 円
団 体	430 円	170 円	600 円	250 円

※小人:4 歳以上、中学生まで (3 歳以下無料) 団体:20 人以上

大淀川学習館

(生涯学習課 内線 (75)5509)

大淀川学習館は、市制 70 周年記念事業の一つとして、また大淀川浄化活動及び大淀川学習のシンボリックな施設として平成 7 年 3 月 28 日に開館した。その後、体験施設及び常設展示等の整備充実を図るため、平成 14 年 7 月 15 日にリニューアルオープン。さらに、里山の復元をめざして、平成 15 年 10 月には、「里山の楽校」をオープンし、屋外体験施設ゾーンの「水辺の楽校」と「里山の楽校」及び屋内体験施設ゾーンの「大淀川学習館」が一体となった総合的な学習施設となっている。

1 施設の概要

所 在 地	宮崎市下北方町二反五瀬 5348 番地1
敷 地 面 積	17,682.41 m ² (学習館本館 6,532.05 m ² 、里山の楽校 11,150.36 m ²)
建物延床面積	2,880.04 m ² (学習館本館 2,720.04 m ² 、里山の楽校「杉の家」160.00 m ²)
建 築 構 造	学習館本館:鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上 2 階建て 杉の家:木造地上 1 階建て
事 業 費	2,370,000 千円 (学習館本館 2,170,000 千円、里山の楽校 200,000 千円)
休 館 日	月曜日 (休日を除く)、休日の翌日 (土・日曜日、休日を除く)、12/29～1/3、臨時休館日
入 館 料	無料

(1) 展示の概要

- ①常設展示 (河川環境に対する意識啓発を図るための展示)
- ②生体展示 (自然楽習園、生体展示室、ホタル展示室、観察ステーション)
- ③企画展示 (「カブトムシ・クワガタムシ展」他)
- ④募集作品の展示 (「大淀川流域の動植物画コンクール」他)
- ⑤コーナー展示 (寄贈品や過去の特別展示資料等の展示)

2 事業の概要

(1) 令和5年度実績

- 総入館者数 105,271 人 (大人 58,023 人、小人 47,248 人)
- 内 訳 個人 94,780 人 団体 10,491 人
広域圏児童生徒 4,905 人 団体広域圏外児童生徒 1,136 人
- 開館日数 307 日 ○一日平均利用者 343

(2) 教室、イベント等の開催

学校・団体 対応事業	①授業支援 <22 回:参加者延べ 1,032 人> ②指導者支援 <3 回:参加者延べ 26 人> ③出前授業等 <13 回:参加者延べ 652 人>
教 室 事 業	①環境教室 <3 回:参加者延べ 95 人> ②飼育・観察教室 <6 回:参加者延べ 136 人> ③活動教室 <13 回:参加者 150 人> ④ものづくり教室 <7 回:延べ 130 人> ⑤園児教室 <20 回:参加者延べ 893 人>

イベント事業	①わくわく工作〈13回：参加者延べ 219 人〉 ②季節のイベント〈2回：参加者 40 人〉 ③講演会〈17回：参加者 355 人〉
その他の事業	①学校教育及び幼児保育との連携 ②各種関係団体との連携 ③情報提供と広報活動

きよたけ児童文化センター

(生涯学習課 内線(75)5506)

きよたけ児童文化センターは、昭和 63 年 5 月 5 日に「子どもたちの殿堂」として開館し、学習室、創作活動室、資料展示室などを有している。また、図書室には約 24,000 冊の児童図書を配架し、ゆったりとした読書コーナーも備えている。

本施設は、子どもたちが楽しく学びながら文化活動を行うことにより、独創性や創造力を育む施設となっている。

1 施設の概要

所在地	宮崎市清武町西新町 1 番地 6
敷地面積	862.29 m ²
建物延床面積	1,014.00 m ²
建築構造	鉄筋コンクリート造 地上2階建て
事業費	199,478 千円
休館日	月曜日(但し、月曜日が休日のときはその日後、最も近い休日でない日)、 12/29～1/3

(1) 施設の内容

- 〈1 階〉 図書室、会議室、和室、展示ホール、事務室、倉庫、湯沸室、男子・女子便所
- 〈2 階〉 創作活動室、学習室、資料展示室、収蔵庫、工具室、準備室、倉庫、男子・女子便所

2 事業の概要

(1) 令和 5 年度実績

- 総入館者数 26,098 人
- 図書貸出冊数 個人 12,651 冊(登録者数 9,837 人)
団体 151 冊(登録団体 117 団体)
- 教室等受講者数 9,098 人
- 開館日数 309 日

(2) 各種教室・講座、イベント等の開催

幼児工作教室、おもちゃ病院によるおもちゃの修理、ボランティアによる「かみしばい村」を実施している。また、子ども読書の日に関するイベントとして「子ども読書まつり」の開催や、ボランティアグループによる絵本読み聞かせ会を実施している。

(3) 利用案内

- 開館時間 午前 9 時から午後 6 時まで
(ただし、学校の長期休業日は午前 8 時 30 分から午後 6 時まで)
- 図書貸出 貸出冊数 1 人 5 冊以内
貸出期間 14 日間以内
室内では自由に閲覧できるが、本を借りる場合は図書室利用者カードが必要。

生目の杜遊古館

(文化財課 85-1178)

埋蔵文化財センターと体験学習館の施設を有する宮崎市の埋蔵文化財の調査・研究と整理・保管、普及啓発活動の拠点施設。

埋蔵文化財センターの展示室 1 では旧石器時代から近現代に至る宮崎市域の歴史について、展示室 2 では国重要文化財に指定された「下北方 5 号地下式横穴墓出土品」について、展示室 4 では隣接する国指定史跡生目古墳群や宮崎市内の遺跡から出土した埋蔵文化財について展示・紹介している。また、展示室 3 では、年数回、宮崎市の歴史や文化にちなんだ企画展を行っている。

体験学習館では、古代文化体験のほか親子で楽しめる各種体験ができる。

1 施設の概要

区 分	埋蔵文化財センター	体験学習館(体験学習棟)
所 在 地	宮崎市大字跡江 4200 番地 3	
敷 地 面 積	19,907.2 m ²	
建物延床面積	2,499.9 m ²	1,324.98 m ²
建 物 構 造	鉄筋コンクリート造 平屋建て	鉄骨造 平屋建て
建 設 費	719,873 千円	303,753 千円
休 館 日	月曜日、祝日の翌日(但し、土・日曜日、休日に当たる日を除く)、12/29～1/3	
開 館 日	平成 21 年 4 月 25 日(展示室リニューアル:令和 2 年 9 月 19 日)	
開 館 時 間	午前 9 時 ～ 午後 4 時 30 分(入館は午後 4 時まで)	
入 館 料	無料	

2 展示等の概要

(1) 埋蔵文化財センター

宮崎市の文化財に関する「調査・研究」「整理・保管」「公開・活用」を目的とした施設。

○展示内容: 隣接する生目古墳群を中心に、下北方 5 号地下式横穴墓出土品や国指定史跡本野原遺跡の資料など、原始から近現代にかけての各種文化財の展示、埋蔵文化財センターでの報告書作成業務の公開。

(2) 体験学習館

古代文化体験、創作活動ができる集団学習にも対応した体験学習施設。

○施設内容

- ・体験学習棟: 多目的室、体験工房、調理実習室、食堂、シャワー室
- ・その他: 炊飯棟、多目的広場

3 事業の概要

(1) 令和5年度実績

○総入館者数	27,912 人(大人 21,044 人 小人 6,868 人)		
○開館日数	307 日	○一日平均利用者	91 人

(2) 企画展、講座、イベント等の開催

企画展として、10月に「いろんなカタチ！」と題し、宮崎に関する歴史・考古・民俗資料のうち、軸物や和装本、出土遺物、民具などの展示を行い、1月には「嗜好品の世界」と題し、お茶やお酒など長年愛されてきた嗜好品についての展示を行った。

講座として、古文書講座を初級者編3回と中級者編5回、専門家を招いての歴史文化講座を10回、学芸員による講座やモノづくりを4回、宮崎市教育委員会文化財課の専門職員による宮崎市内の遺跡や遺物に関する講座を5回開催した。その他、子どもたちが昔の生活を体験することによってSDGsを学ぶレッツタイムワープ in 遊古館を5回実施した。

イベントについては、大淀川学習館・宮崎科学技術館と連携してデイキャンプを夏冬の2回実施したほか、こどもの日の特別企画や生目古墳まつりと連携したイベントを実施した。

体験学習として、古代生活体験(勾玉づくり、土器づくり等)、自然体験(草木染め等)及び野外体験(野外炊飯等)を18回実施した。

そのほか市内小学校等16校の社会科見学・遠足の利用や学校・地域住民向けの出前講座を9回行った。

佐土原歴史資料館

(文化財課 85-1178)

佐土原歴史資料館は、鶴松館と商家資料館からなる。そのうち鶴松館は寛永年間の佐土原城二の丸跡に資料館として建設され、有形文化財指定の商家資料館「旧阪本家」とともに、佐土地域の数々の資料に触れることができる。

また、資料館敷地を含む佐土原城跡については、自然の地形を利用した中世の典型的な山城と江戸時代に利用された平城の両方が残っており、平成 16 年に国指定文化財(史跡)となっている。南九州では他に類を見ない天守台を備え、金箔瓦を使っていたことなどが明らかになっている。

1 施設の概要

区 分	鶴 松 館	商家資料館「旧阪本家」
所 在 地	佐土原町上田島 8227 番地 1	佐土原町上田島 1601 番地 2
敷 地 面 積	3,264 m ²	150.5 m ²
建物延床面積	535.15 m ²	140.36 m ²
建 物 構 造	木造平屋建て	木造 2 階建て
建 設 費	941,403 千円	17,000 千円
休 館 日	月曜日～金曜日(休日に当たる日を除く。5/15～6/14 は休館日なし)、 12/29～1/3	
入 館 料	無 料	
開 館 日	平成 5 年 6 月 1 日	平成 13 年 7 月 2 日
展 示 の 概 要	大広間、書院、数寄屋の三棟からなる。大広間では、佐土原人形や、掛け軸、鎧冑などを常設展示している。 書院では、展示資料室として、山城天守台跡から発掘された鯱瓦や、南九州最大の「下村窯跡」出土須恵器、山城立体模型、国指定重要文化財「巨田神社の棟札」、西郷札など古代から近代にかけての資料を展示している。 数寄屋は島津家由来の家具調度品を展示している。	阪本家は、江戸時代から続いた味噌・醤油醸造を営む旧商家で、現在の建物は隆盛を極めた明治 38 年に建てられ、二列通り庭造りの典型的な町屋造りである。 普通の町屋は、間口三間の奥に長い形をしている(入母屋造りの妻入り型)が、阪本商家は「重層入母屋造りの平入り」型である。 平成 12 年 5 月に、「有形文化財」に指定されている。(宮崎市指定)

2 事業の概要

(1) 令和5年度実績

○総入館者数	9,416 人(大人 7,402 人 小人 2,014 人)		
○開館日数	142 日	○一日平均利用者	66 人

(2) 企画展、体験学習等の開催

「鶴松館 30 年のあゆみ」と題し、令和 5 年 5 月 15 日(月)から 6 月 14 日(水)の期間、鶴松館建設前から現在に至るまでの様子をパネルで紹介する企画展を行った。また、令和 6 年 1 月、ともに開館 30 周年を迎えた天ヶ城歴史民俗資料館と「出張！2 館合同収蔵品展」を開催した。

体験学習として、城下町佐土原に古くから伝わる工芸品等の製作及び伝統文化の体験、新たに作成した「旧跡巡りマップ」を使って佐土原城や城下の史跡巡りを実施した。

天ヶ城歴史民俗資料館

(文化財課 85-1178)

平成5年に高岡地区の桜の名所、天ヶ城公園内にオープンした天ヶ城歴史民俗資料館は、高岡地域の文化遺産(歴史・考古・民俗)を保存・研究している。その成果は、展示や講座などを通して普及・促進しており、地域文化の向上に寄与している。

1 施設の概要

所在地	宮崎市高岡町内山 3003 番地 56
建物延床面積	1,432.28 ㎡
建物構造	鉄筋コンクリート 4 階建て
建設費	876,000 千円
休館日	月曜日～金曜日(休日に当たる日を除く。3/15～4/14 は休館日なし)、 12/29～1/3
開館日	平成5年11月6日
入館料	無料

(1) 展示の概要

天ヶ城歴史民俗資料館の展示は、大淀川とともに生きてきた高岡地区や人々の生活ぶり、かつて薩摩藩の武家集落である麓の一つとして栄えた武家社会のあり様、その他高岡地区の歴史、風土、産業などを映像やジオラマなどによって分かりやすく紹介している。

1 階展示コーナーは、民俗資料や帆掛け舟などによって、大淀川と高岡地区の関わりについて、分かりやすいガイダンス展示となっている。また、玄関ホールは、企画展示のコーナーで、高岡地区の歴史・考古・民俗についてさらに詳しく紹介している。

2 階展示コーナーは、「川が培ったもの」というテーマで、高岡地区の歴史について、南北朝時代の穆佐院の頃から江戸時代の高岡郷・穆佐郷までの社会の移り変わりを中心に紹介している。特に、江戸時代の高岡郷の一日を再現したジオラマ模型は、当時の人々のくらしを具体的に知ることができる展示となっている。

3 階展示コーナーは、「川と営み」というテーマで、かつて高岡地区でよく見かけられた中二階の家を再現するなど、高岡の民俗を分かりやすく展示している。

4 階からは、「川が生み出したもの」というテーマで、大淀川を中心とした現在の高岡地区の様子が一望できる。

2 事業の概要

(1) 令和5年度実績

○総入館者数	12,589 人(大人 7,568 人 小人 5,021 人)		
○開館日数	139 日	○一日平均利用者	91 人

(2) 企画展、体験学習等の開催

企画展として、令和6年3月15日(金)から4月14日(日)の期間、ともに開館30周年を迎えた佐土原歴史資料館と「出張! 2館合同収蔵品展」と題し、高岡と佐土原の藩政時代の様子などについて互いの収蔵資料の出張展示を行った。

体験学習として、水鉄砲づくりやミニ門松づくりなど昔ながらの製作を中心に、子どもとその保護者を対象に実施した。

また、高岡歴史かるた会が作成した高岡町にまつわる事柄を札とする「高岡歴史かるた」の普及のた

め、講師を招いて、かるた遊びを行った。

さらに、小学校第3学年社会科の学習支援として授業支援事業「昔の道具と人びとの暮らし」を実施し、宮崎市広域圏内の小学校を対象として要請のあった学校を訪問して、昔の道具の取り扱い方をはじめ、道具の解説などを行った。

安井息軒記念館

(文化財課 85-1178)

安井息軒記念館は、平成 11 年度に開催された幕末を代表する儒学者・安井息軒の生誕 200 年祭の挙行によって、さらに活発となった彼の顕彰活動の一環として建設された。記念館では、息軒に関する資料の展示や管理を中心に、宮崎平野の南部に位置する旧清武郷の歴史や文化等の紹介を行い、隣接する国指定史跡「安井息軒旧宅」の公開と管理も行っている。さらに茶室「香梅庵」の管理や貸し出しも行っている。

1 施設の概要

所在地	宮崎市清武町加納甲 3378-1
敷地面積	4,329 m ²
建物延床面積	1,131.52 m ²
建物構造	鉄筋コンクリート 2 階建
建設費	495,647 千円
休館日	月曜日、休日の翌日(但し、土・日曜日、休日にあたる日を除く)、12/29～1/3
開館日	平成 14 年 9 月 23 日
入館料	無料

(1) 展示の概要

安井息軒記念館では、「安井息軒」と「清武の歴史」を紹介している。安井息軒展示室では、「文久の三博士」と称された彼の生涯と業績について、直筆の書籍や遺品等の資料を交えて紹介している。宮崎市中心部から太平洋まで見渡せる展望室では、清武城跡や曾井城跡などの中世城郭をはじめ古代・中世の清武に関する資料を、その眺望を活かす形で紹介している。また、廊下展示では、息軒の江戸期における活躍を紹介し、加えて旧清武郷木花出身の刀工「井上真改」作の日本刀を特別ブースにて展示している。

(2) 茶室「香梅庵」

香梅庵は、日本の伝統文化である茶道の普及を目的に建てられた施設で、一般への貸し出しも常時行っている。約 10 坪の茶室は入母屋造りの草庵式茶室で、4 畳半の小間と水屋に寄合待合が付設されている。また、外露路には腰掛待合が設けられ、内露路にはつくばいと石灯籠が配置されている。

(3) 国指定史跡「安井息軒旧宅」

安井息軒の生家で、天保 2(1831) 年安井家が飢肥へ転居するまで父滄洲らとともに息軒はここで暮らしていた。転居後他者の所有となったものの、紆余曲折を経て大正 12 年に公有化され、昭和 54 年には国の史跡に指定された。その後、発掘調査や聞き取りの結果をもとに、平成 5 年には史跡整備が行われた。さらに令和元年度には耐震補強、茅葺き替え等を含めた保存修理工事が行われた。

2 事業の概要

(1) 令和 5 年度実績

○総入館者数	9,534 人(大人 6,787 人 小人 2,747 人)		
○開館日数	307 日	○一日平均利用者	32 人
○施設利用	160 件(843 人)		

(2) 各種講座、イベント等の開催

講座は、「安井息軒記念館講座」を6回実施。息軒の著作『弁妄』を解説する「息軒会読Ⅰ」を新規講座として開催した。息軒の命日である9月23日を「息軒デー」とし、安井息軒記念講演会や息軒関連の書道吟・詩舞、朗読劇などを行った。

企画展では、9月1日(金)から11月5日(日)の期間、生活が困窮していた安井家や、息軒本人を経済的に支援し、大成へと導いた赤江・城ヶ崎の南村家をテーマとした「安井息軒と南村家」や、1月12日(金)から3月24日(日)の期間、長女須磨子が、有能かつ勝ち気で、先進的な考え方をもっていた事実をテーマとした「息軒の娘～安井息軒の教育論～」を行った。その他、夏休み期間中には「安井息軒顕彰自由研究・書道・絵画・似顔絵展」を開催した。

12月には「息軒探訪バスツアー」を開催し、延岡城址やリニューアルされた内藤記念博物館など、息軒の弟子たちゆかりの地を訪れた。3月には息軒を育んだ清武中野の史跡を訪ねる「息軒ふるさとウォーク」を開催した。